

タンネウシ



06

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

月号

海峡を越えたオホーツク土器

1971年に斜里町で発掘され、青森県の故二本柳正一さんが保管していた土器が斜里町に戻ってきました。この海峡を越えたオホーツク土器を展示しています。▶日時：6月13日(日)まで▶場所：博物館受付 ※この展示のみの観覧は無料です。



知博うごく生き物ずかん

知床周辺の生き物の映像をウェブで紹介しているうごく生き物図鑑に新たな動画を加えました。クロテン幼獣とマスを食べるトビです。▶閲覧方法：スマートフォンでQRコードを読み込んで、サイトにアクセスしてください。



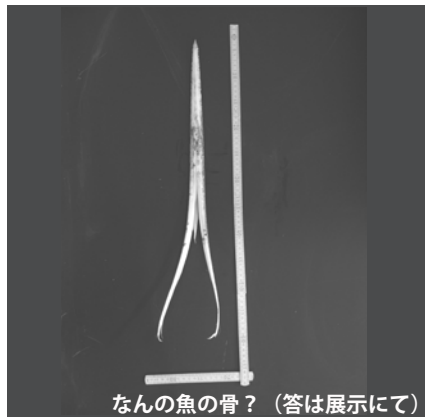
川沿いの木にとまるトビ

ロビー展「骨のある展示」

動物の骨にはそれぞれドラマがあります。それは数万年の進化の歴史だったり、その動物が一生を終える直前にかろうじて生きていた姿だったりします。それぞれの骨をじっくり眺めると、新たな動物達の姿を発見できるかもしれません。「ろっ骨背比べ」、「やわらかい骨と硬い骨」、「飛ぶための骨」「泳ぐための骨」などを展示予定です。下の2枚の写真は、ある理由で折れたシカの骨、ある魚の骨です。展示会場で答えを出します。▶日時：6月19日(土)～7月18日(日)まで▶場所：交流記念館ホール▶ロビー展のみの観覧は無料です。



なぜ折れている？(答は展示にて)



なんの魚の骨？(答は展示にて)

しれはくフェス中止

6月下旬に予定していた博物館みどりの日・しれはくフェスは、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止しました。

ボランティア草取りスタート

毎年6～10月の10日に実施してるボランティア草取りをスタートします。よろしければご参加ください。なお、新型コロナ対策で博物館が休館の時には、中止します。▶日時：6月10日(木)6:00～7:00雨天中止▶場所：高山植物園(博物館裏のワシ小屋付近)▶持ち物：軍手、帽子、虫よけ

新会長のご紹介



4月28日に開催された知床博物館協力会総会で、門馬恵彦さんが新会長に選出されました。門馬さんは野鳥に詳しく、博物館の野鳥観察会の講師をされたり、保護された鳥の処置にアドバイスをいただいたりしています。これからもよろしくお願いします。

休館日 6月の休館日は7・14・21・28日の月曜日です。新型コロナの状況で臨時休館になるかもしれません。ウェブサイトやFacebookで随時お知らせします。

編集後記 西表島を含む地域の世界遺産登録が濃厚になってきました。久しぶりの良いニュースが楽しみです(村)